

② デダロ・ミノス国際建築スポンサー賞を受賞 世界的に評価された白石市のまちづくり

▶ピチェンツァ市で開催された授賞式



建築界で世界的に権威ある賞のひとつであるデダロ・ミノス国際建築スポンサー賞に、国内で初めて白石市が選定され、12月12日、川井市長がイタリア北部の

ピチェンツァ市で開催された授賞式に臨みました。

今回の受賞は、城下町の歴史的な街並みを生かしながら、現代建築の整備を進めた都市景観づくりや、市民参画で取り組んだ白石市のまちづくりが高く評価されたことによるものです。

特に「ホワイトキューブ」、「福祉の里」、「刈田病院」、「南保育園」の斬新な設計や外観が高い評価を受け、都市プロデューサーとしてまちづくりに携わってきた堀池秀人氏とともに同賞を受賞しました。

③ 「ISO14001」の認証を取得 環境都市の実現に向けて

市では、限りある地球資源を有効活用し、環境負荷を低減させたやさしいまちづくりを推進するため、国際環境マネジメント規格「ISO14001」の認証取得を全庁的に取り組み、2月27日に認証を取得しました。この取り組みの一つであるごみの減量化は、現在、白石市が仙南二市七町の中で最も進んでいます。

今後もこのシステムを維持・管理するとともに、「白石らしさ」である歴史ある水の文化と緑の自然を後世に引き継ぐため、10年間にもわたる産業廃棄物最終処分場反対闘争を今後も粘り強く継続していくなど、「くらし日本一」の住み良い環境保全に努めていきます。



▲ ISO14001 登録証

④ 男女共同参画社会推進条例を制定・施行 一人ひとりの個性が輝く社会を目指して

21世紀を生き抜くためには、「ジェンダー（性別による役割分担差別）フリー（なくすこと）」の実現や、NPOとの連携が不可欠です。

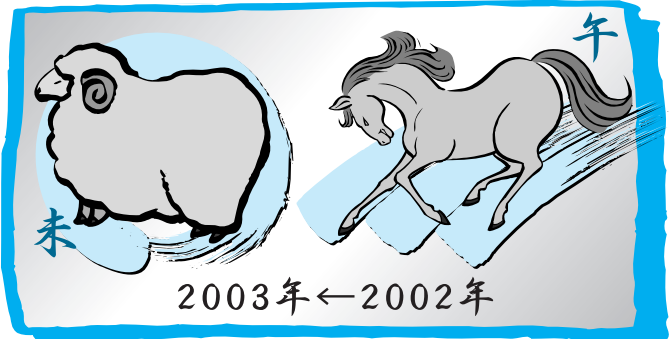
市では、男女共同参画社会づくりを本格的に進めるための啓蒙活動・法的根拠として、6月に具体的な数値目標や、DV（家庭内暴力）防止とそのためのシェルターなどに関する条文を盛り込んだ「白石市男女共同参画社会推進条例」を制定・施行しました。

今後、長い歴史の中で培われた日本の社会構造文化＝ジェンダーを打ち破るため、さまざまな逆風の中でも一步一步、ジェンダーフリーを強く押し進めていきます。



平成14年 市長の目から見た

白石市の10大ニュース



① 新公立刈田総合病院がオープン 保健・医療・福祉の連携をさらに強化



福岡蔵本地区に建設が進められていた白石市外二町組合の新公立刈田総合病院が完成し、5月7日、仙南トップの中核病院としてオープンしました。

新病院は、広大な敷地に全く新しい形態と最新の情報システムを備え、最先端の診断治療機器、充実した医療スタッフ陣により、今まで以上に質の高い医療サービスを提供しています。また、自然採光を取り入れるなど「癒し」を重視した設計で、ゆとりある空間が患者の皆さんの気持ちを和ませてくれます。

新病院のオープンにより、刈田病院を中核とした医療機関の役割分担の明確化や救急医療体制などの充実が図られ、また、福祉の里とのネットワークも強化され、「保健・医療・福祉」の連携・一体化がより強固なものとなりました。



◀ 男女共同参画社会に関する写真コンクール
特選作品 男の保育士大活躍